題　　目

‐副題（副題がある場合のみ）‐

※一行スペース

明学　太郎

※一行スペース

（学籍番号：00PS/PE0000，指導教員：緒方明子教授）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※一行スペース

問題

　・行数，文字数，行間等のレイアウトの設定は，

　　本ファイル(word版)の設定をそのまま利用す

　　る。本ファイルをコピーした上で，その内容

　　を上書きする形で執筆を行うこと。勝手に設定を変更しないこと。

見出し（問題・目的・方法・結果・考察）については各自適宜変更して良い。

　・要旨は２枚以内に必ず収めること。

　・全文のフォントをMS明朝に統一。題目のフ

　　ォントサイズは18，本文のフォントサイズは

　　11（※本ファイルの設定）。英字はCentury

を利用する。

・題目が長く，二行以上にわたる場合には、一

　　行で収まるようにフォントサイズを適宜変更

　　して良い。

　・副題が無い場合には，その行は詰め，題目と

　　氏名の間に一行のみスペースが入るようにす

　　る。

※見出しの前は1行分スペースを空ける

目的

　・「目的」は，問題とは別に見出しを設けても

良いし，「問題と目的」の最後の段落に記載

しても良い。

方法

研究（調査・実験）対象者

（これらの小見出しは必要に応じて適宜使用する）

手続き

※見出しの前は1行分スペースを空ける

結果

自尊感情尺度

Figure 1　自尊感情尺度の得点の変化

　・図表は適宜挿入可能（１つ以上の図表または写真などを含めることが望ましい）。表図は１段内に収め

ること。

　・表や図中の数値や記号のフォントや桁数の記

　　載については卒業論文執筆の記載法に従うも

　　のとする。

　・図表のタイトルの位置にも注意すること。表

　　は Table 1, 図はFigure1のように英文を用

　　いて表記すること。

※見出しの前は1行分スペースを空ける

考察

※見出しの前は1行分スペースを空ける

主要引用文献

金城　光・清水寛之・鈴木雄大・田村　隆（2018）20‒90 歳の成人を対象とした年齢と性別による身体的・精神的加齢自覚と受容の時期の比較　*明治学院大学心理学紀要*，**28**，1‒19.

　すべての文献を挙げられない場合は主要な文献のみでよい。その他の記載方法は学科指定の卒業論文執筆の記載法に従うこと。

付記

　本研究は著者による2018年度心理学科卒業論文「（タイトルを記入する）」における研究の一部として行われた。

・該当する卒業論文・修士論文があれば付記として記載すること

※原則として出来るだけ最終行まで埋めること。（発表要旨はかならずA4用紙２枚に収めること）